

■平成 30 年度 緑の募金

募金運動期間

春期 平成30年3月25日（日）～5月31日（木）

秋期 平成30年9月1日（土）～10月31日（水）

皆様の温かいご協力、ありがとうございました。

「緑の募金」は森林の整備や緑化活動を支援し、きれいな水環境、災害の防止、きれいな空気、温暖化の防止など環境改善に役立っています。

森や緑を育てて、安全で住みよい故郷をつくり、次世代へ引き継いでいくため、一人でも多くの方に「緑の募金」への温かいご協力をお願いします。



平成30年度緑の募金の結果

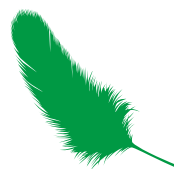
街頭募金52万円、学校募金98万円、家庭募金1,537万円、企業募金80万円、職場募金302万円、その他募金54万円、合計2,123万円となり、募金目標額に対し85%の実績を上げることが出来ました。

皆様からご協力いただいた緑の募金は、外部有識者による「緑の募金等運営協議会」で審査等を経た上で、緑化事業の推進に大切にに使わせていただき、皆様方の地域環境の改善等に役立たせていただきました。

ご協力いただいた県民の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



緑の募金等運営協議会



みどりの少年団交流集会

子どもたちが森林の中での活動や相互交流を通し、緑を守る大切さや健全な育成を目的として、みどりの少年団交流集会を毎年実施しています。

平成30年8月9日（木）～10日（金）の1泊2日で、倉吉市立北谷小学校、湯梨浜町立羽合小学校、米子市立淀江小学校、米子市立車尾小学校の各みどりの少年団と引率の先生、事務局総勢34名が参加し、東伯郡琴浦町山川の鳥取県立船上山少年自然の家において、みどりの少年団交流集会を開催しました。

入所式の時は緊張した様子の子どもたちでしたが、午後はダム湖でカヌーといかだに乗る活動ということで、昼食後はみんなわくわくした表情でした。

体育館での説明の後、ダム湖までは歩いて行きました。倉庫に到着後、みんなでカヌーといかだをダム湖へ運びましたが、この夏の猛暑でダム湖の水位が例年よりかなり低くなっていました。

初めてカヌーに乗った人もたくさんいましたが、みんな上手に漕いでいました。いかだはグループで上手に漕がないと行きたい方向に行かないので、班のみんなで協力しました。

あつという間のダム湖での活動の後は、野外炊飯。班ごとに分かれてカレー作りです。かまどに火をおこすのに悪戦苦闘しましたが、どの班も上手にご飯が炊け、おいしいカレーをいただきました。

片付けもみんなで協力し合い、予定の時間よりも早く野外炊飯が終わったため、急ぎょ体育館でレクリエーションをしました。一日の疲れも見せず、みんな元気いっぱい楽しんでいました。



入所式の様子



班ごとに分かれて役割を決めています



ダム湖までは歩いて行きます。
このまま雨が降りませんように。



パドルさばきも見事です。

**TOTTORI
RYOKUSUI DAYORI**
とっとり緑推だより



カヌーといかだ、どちらも楽しいです。



左右のバランスを取りながらいかだに座ります。



おいしそうなカレーができました。いただきまーす。



同じ班以外の友だちとも仲良くなりました。

TOTTORI RYOKUSUI DAYORI

とっとり緑推だより

2日目は、ラジオ体操から始まりました。清掃、朝食を済ませて、下草刈り作業を行いました。

鳥取県中部総合事務所の方々に、大鎌の使い方や森林についてのクイズなどをさせていただきました。みんな、真剣に聞いていました。



慣れない大鎌で下草刈り。



ウッドクラフト。可愛い作品ができました。



船上山少年自然の家の指導員の先生や各緑の少年団の引率の先生など、多くの方々のご協力をいただき、予定していた日程をすべて滞りなく実施することができました。少年団のみんなも元気に活動し、交流を深めることができたと思います。

子どもたちの感想

☆いかだ体験で、片方だけが一生懸命漕いでも、まったく進まなかったのが、協力してすることが大切だなあと思いました。

☆野外炊飯はカレーの野菜に火が通らず、食べるのが遅くなってしまいました。けれど、待った分だけとてもおいしく感じました。



全員で記念撮影！楽しい思い出がたくさんできました。

☆下草刈りでは、緑の大切さを学び、森林があることに感謝するということなどを学びました。

☆ぼくたちが草を刈ったので、大きく木が育ってほしいです。

☆ウッドクラフトでは、自分の好きなように木やドングリをグルーガンでくっつけて作りました。材料を選ぶとき、どれを使うかすごく悩みました。

■緑の募金贈呈式

8月27日、株式会社イブキ様から、同社の卵の売上の一部より「緑の募金」へ寄付があり、同社食品部鶏卵課課長代理 濱田 直幸様より当委員会 松原常務理事へ贈呈していただきました。



11月20日、株式会社新日本海新聞社様から「緑の募金」へのご寄付があり、県議会議長室に於いて、執行役員営業局長 田口 智弘様より当委員会 稲田 寿久理事長（県議会議長）へ贈呈していただきました。

ご寄付頂きました「緑の募金」は、本県の緑化推進のため有効に活用させていただきます。

■平成31年用国土緑化運動・育樹運動標語の入選

平成31年用国土緑化運動・育樹運動標語の募集を行ったところ、54点の応募がありました。その中から6点を選考し、公益社団法人国土緑化推進機構へ推薦した結果、米子市立淀江小学校6年 竹内 悠人さんの「育てて使おう 日本の緑」が入選しました。（35都道府県から324点の応募）

竹内さんへは、表彰状と副賞（図書カード）が贈呈されました。おめでとうございます。

■平成30年度中国・四国地区緑化功労者表彰



10月25日～26日、岡山県岡山市「ピュアリティまきび」において、第67回（平成30年度）中国・四国地区緑化推進協議会総会が開催されました。

その席で、中国・四国各県から推薦された、平成30年度中国・四国地区緑化功労者の表彰が行われ、鳥取県からは日野町の坪倉 敏さんが受賞しました。

坪倉氏は、森林インストラクター・林業技士・樹木医の資格を有し、自然環境や林業に関する知識・技能に優れ、卓越した指導技術を持つことから、長年に亘り森林学習や林業技術の指導に携わられています。

また、環境省自然公園指導員、鳥取県自然保護観察監視員を務め、とっとり森づくりサポーターの登録を行うなど、自然や森林を守る行政や地域の活動にも積極的に協力されています。

11月8日（木）鳥取県西部総合事務所日野振興センター所長室において、越智 浩明日野振興センター所長より、坪倉さんへ表彰状の伝達がありました。

坪倉さんのこれからの活躍を期待しています。

■誕生記念樹贈呈事業

赤ちゃんの誕生をお祝いするとともに、緑を育てることの大切さを親と子どもに共有してもらうため、県内に居住している誕生1年以内の赤ちゃんを対象に「誕生記念樹贈呈事業」を実施しました。平成29年9月1日～平成30年8月31日生まれの赤ちゃんを対象に募集したところ、145名の応募がありました。

贈呈した記念樹は、「ヤマボウシ」「ハナミズキ」「シャラノキ」「コデマリ」「オタフクナンテン」「ムラサキシキブ」の6種類のうちの、希望された1種類を段ボールに箱詰めし、11月下旬に発送しました。

お贈りした誕生記念樹が赤ちゃんの成長を見守り、緑の充実に役立つことを願っています。



贈呈したハナミズキと想くん



贈呈したヤマボウシと暖くん
(お兄ちゃんと一緒に)



贈呈したコデマリと湊音ちゃん
(おばあちゃんと一緒に)

会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された公的団体です。

本委員会の組織運営は、緑の募金及び正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
鳥取県農林水産部森林・林業振興局内
公益社団法人鳥取県緑化推進委員会
電話：0857-26-7416
FAX：0857-26-8192
URL：<http://www.tottori-green.or.jp>

